

受賞者からのコメント

対象：保健医療学部看護学科 3年

保健医療学部看護学第三講座 講師 木島 輝美

「授業を行うにあたって工夫していること」

私は老年看護学を担当しておりますが、近年の学生さんは祖父母との同居経験もなく、近隣との付き合いも少ないため高齢者と接する機会が非常に少ない状況にあります。そこで講義を組み立てる時には、なるべく高齢者の生活像がイメージできるように画像や動画を活用するようにしています。

実習では、個性豊かな高齢者の方々への援助を実践する上で、私の知識や経験が役立つこともあれば、学生さんと一緒に悩んでしまう場面もあります。そんな時、学生さんならではの新鮮な気づきやアイデアが光ることも多く、学生さんたちに教えられていることを実感しています。そこで工夫とはいえませんが、いつも学生さんの目線に立って一緒に学ぶ姿勢を忘れないように心がけています。

「学生への要望・アドバイス等」

若い学生さん達が、高齢者に興味を持つのはなかなか難しいかもしれません。しかし、実習や卒業後に会える患者様のほとんどは高齢者です。

まずは、祖父母など身近な高齢者の若い頃のお話を聴いてみることから始めてみてください、きっと新たな発見があると思います。